



ユニオンニュース・掲示回覧用

分会代表者会議

2月15日(木) 18:30~
連合大阪中会議室

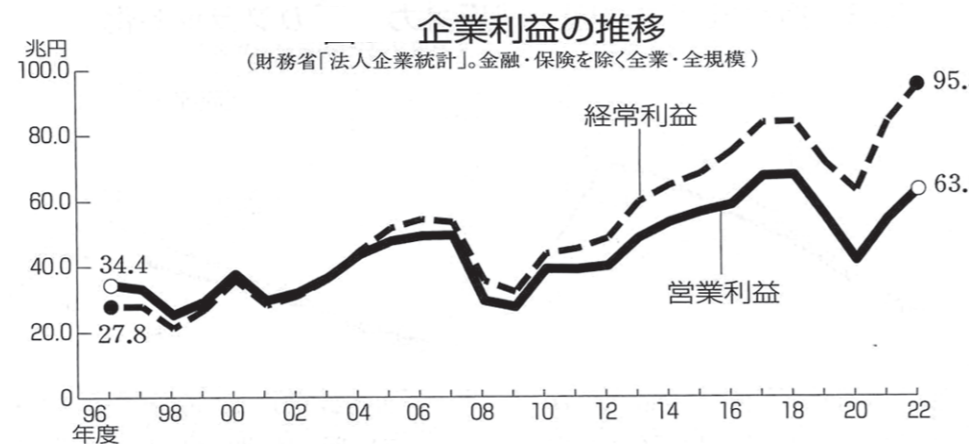
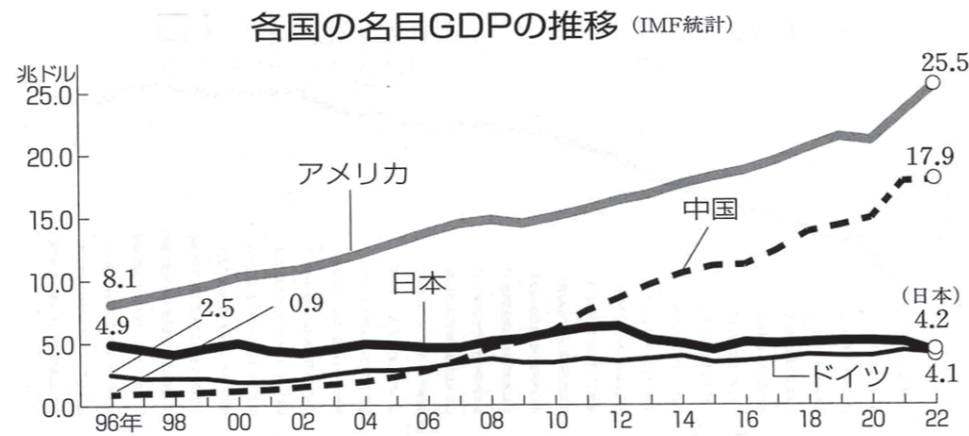
【春闘決起集会】

3月1日(金) 6時半~7時半

扇町公園

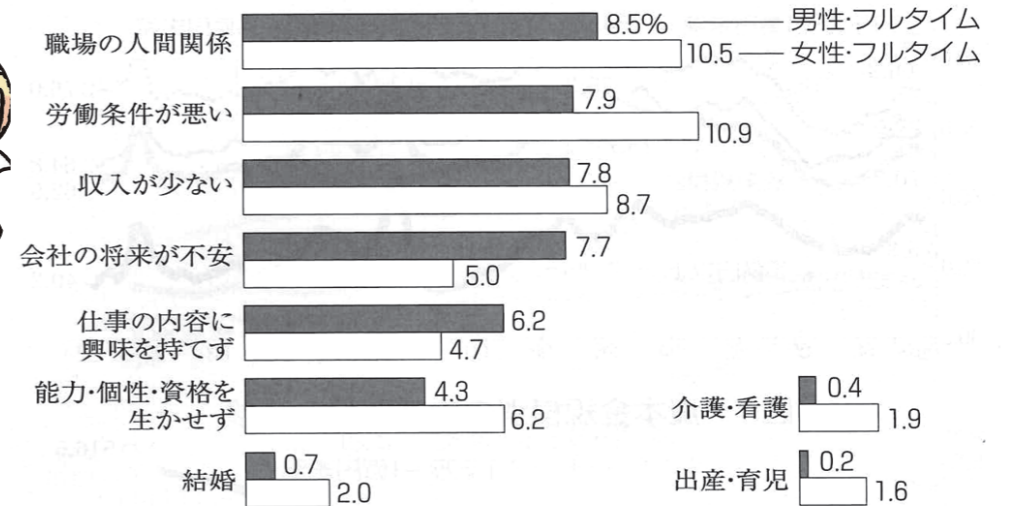
※終了後懇親会予定

底上げ!底支え!格差是正!大幅賃上げで生活改善・向上を!

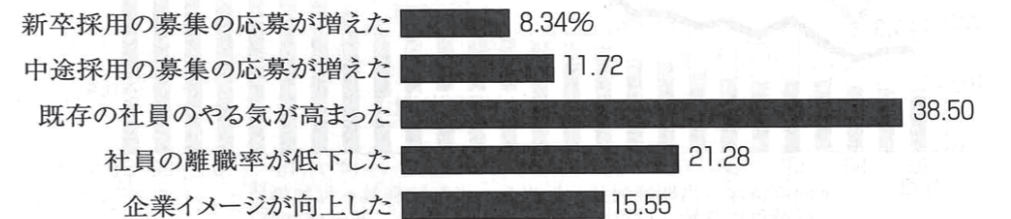


23 労働経済白書より

前の勤め先を辞めた個人的理由(「その他」を除く)



賃上げで企業が実感する効果



平均5%、15000円以上の賃上げを(連合) ベースアップ3%(定昇除く)をめざす(経団連)

2023年10月の全国消費者物価指数は、前年同月比 3.3%上昇、生鮮食品を除く総合指数は 2.9%上昇となった。最低3%の賃上げがないと生活レベルは確実に下がります。「成果主義」などと言って中高年の賃金を大幅に引き下げた結果、日本全体の消費は大きく落ち込み、それが賃金引き上げを抑制し、また消費が伸びないという悪循環をここ30年繰り返してきました。

結果、日本のGDPは30年前から8%ダウン、それに対してアメリカは3倍、中国は20倍となっています。(上図参照)しかし企業利益は大きく伸び、内部留保もずっと右肩上がりです。(右図参照)

退職理由を見れば人間関係(おそらくパワハラ)を除けば労働条件の悪さが上位に来ています。労働者も企業もモチベーションが下がっているということでしょう。しかし、賃上げ1%で消費は0.2%上がるということですから、大幅賃上げこそが根本的問題の解決に向かうことは明白です。

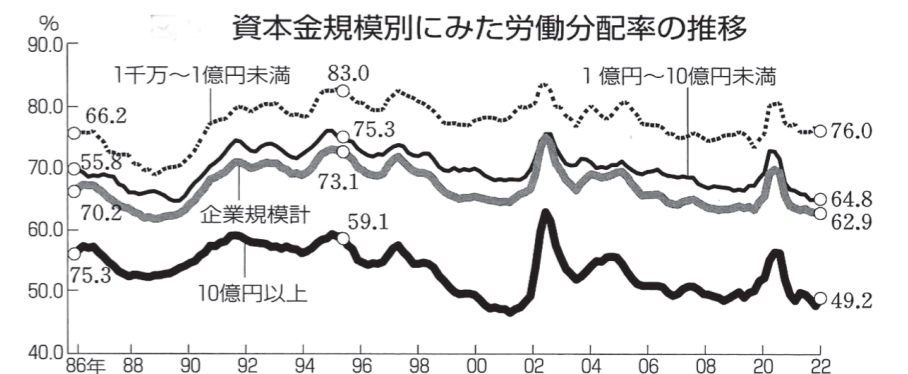


図7 資本金規模別の内部留保の推移

